

第5章 都市づくり方針

鶴崎駅周辺地区の将来像を実現していくための4つの方針を設定します。

1. JR 鶴崎駅や鶴崎市民行政センターを核とした住環境の高質化

(1) 鶴崎駅前拠点の魅力の向上

JR 鶴崎駅周辺を鶴崎駅前拠点として位置づけ、交通結節点としての機能向上や本地区の顔としての魅力の向上を図ります。

(2) 鶴崎駅前軸の景観形成と活用

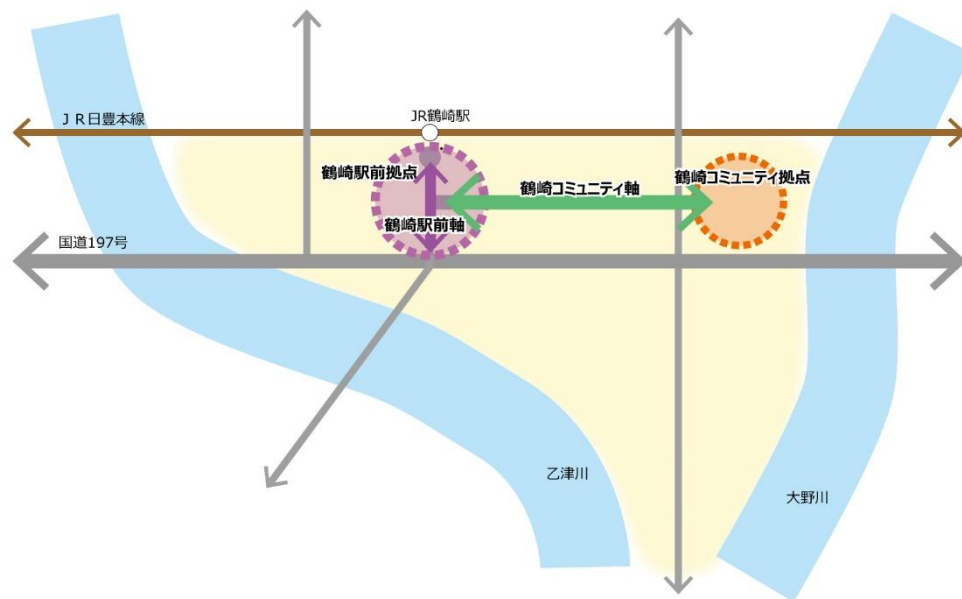
鶴崎駅から国道 197 号に至る駅前通りを鶴崎駅前軸として位置づけ、公共空間の高質化により、駅前広場と併せた玄関口にふさわしい景観の形成と、日常の憩いやイベントでの活用を図ります。

(3) 鶴崎コミュニティ拠点の機能の向上

鶴崎市民行政センター周辺を鶴崎コミュニティ拠点として位置づけ、公園や公民館等のリニューアルによるコミュニティ機能の向上に向けた取り組みを推進します。

(4) 鶴崎コミュニティ軸による拠点間の回遊性の向上

鶴崎駅前拠点と鶴崎コミュニティ拠点を結ぶ道路を鶴崎コミュニティ軸として位置づけ、道路空間の高質化やバリアフリー化により、回遊性の促進を図ります。



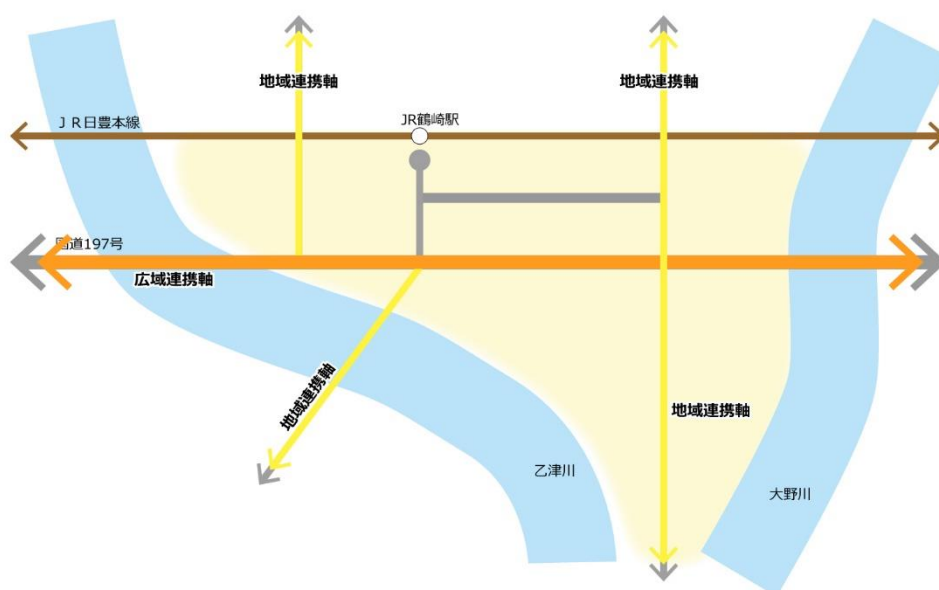
2. 円滑な交通ネットワークの形成

(1) 広域連携軸による広域交通の円滑化

拡幅予定の国道 197 号を広域連携軸として位置づけ、交通流動の円滑化を促進するとともに、拡幅を契機とした都市づくりの取り組みを行います。

(2) 地域連携軸による地区内のアクセス性の向上

国道 197 号から鶴崎地区の各所へアクセスする道路を地域連携軸として位置づけ、本地区区から南北へのアクセス性の向上を図ります。



3. 鶴崎の伝統・文化・緑を「まもり」「つなげ」「いかす」ネットワーク形成

(1) 鶴崎歴史文化拠点の魅力の向上

本地区の豊かな歴史を物語る歴史文化資源が集積する毛利空桑記念館周辺を鶴崎歴史文化拠点として位置づけ、歴史を活かした魅力づくりを促進します。

(2) 鶴崎歴史とみどりのネットワークの形成

点在する歴史文化資源や既存の公園・緑地などを結ぶルートをもとに、鶴崎歴史とみどりのネットワークと位置づけ、地区全体の回遊性と魅力の向上を図ります。

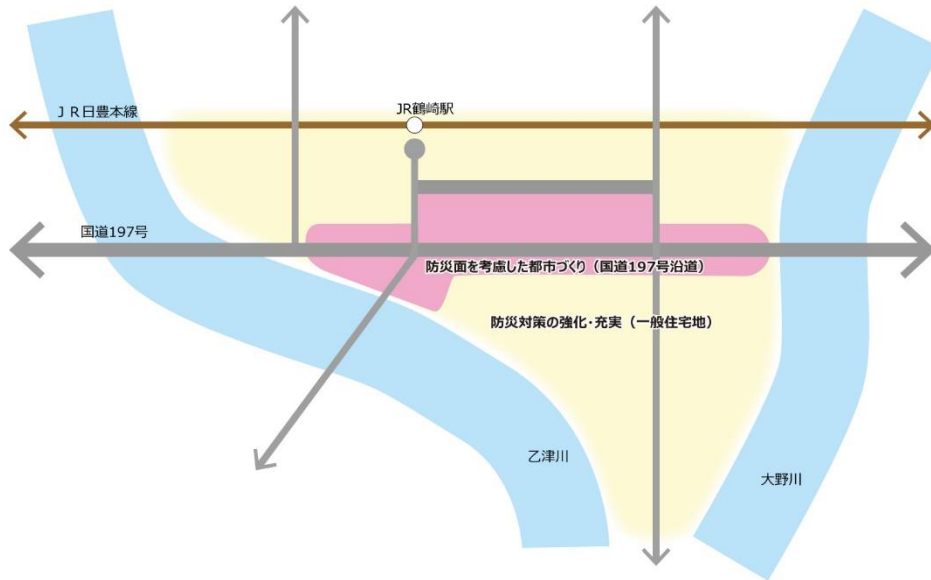


4. 安心・安全に暮らせる防災都市づくり

(1) 防災面を考慮した都市づくりの推進

拠点の形成や交通ネットワークの形成などの整備を行う際には、防災の観点を取り入れた都市づくりを推進します。

防災訓練の実施などソフト的な防災対策の強化・充実により災害に強いまちづくりを促進します。



都市づくり方針図<総括>

